

地区広報

平成21年度

おおやち



第31号

ooyachi

編集・発行/大矢知地区社会福祉協議会

わが町のユニバーサルデザインチェック



高齢者・妊婦・車いす疑似体験

平成21年の思い出

がんばる大矢知っ子のご紹介

データ大矢知

人口（前年比）

総数・・・18,862人(+43)

男・・・9,568人(+14)

女・・・9,294人(+29)

世帯数・・・7,555(+94)

65才以上人口（人口比）

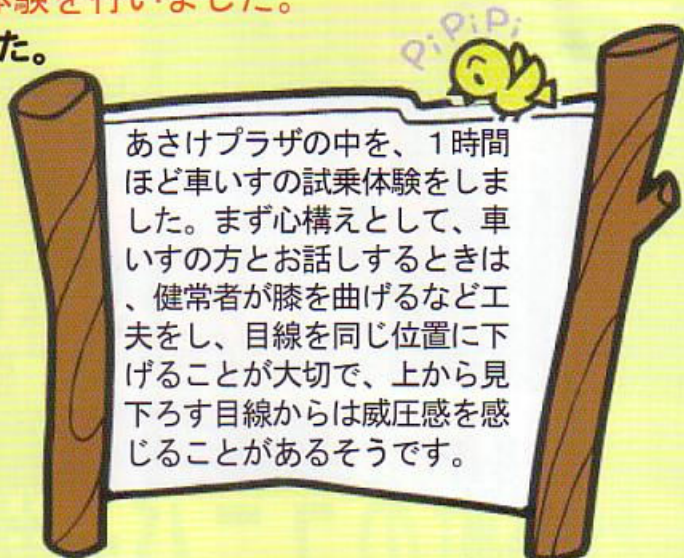
総数・・・3,326人(17.6%)

男・・・1,500人(15.6%)

女・・・1,826人(19.6%)

11月28日、29日の両日、第61回全国・同和教育研究大会が四日市市で開催されました。広報部ではこの催しにちなんで、昨今話題になっている”ユニバーサルデザイン”について考えるため、高齢者・妊婦・車いすの擬似体験を行いました。

①車いす体験…あさけプラザの車いすをお借りしました。



あさけプラザの中を、1時間ほど車いすの試乗体験をしました。まず心構えとして、車いすの方とお話するときは、健常者が膝を曲げるなど工夫をし、目線を同じ位置に下げることが大切で、上から見下ろす目線からは威圧感を感じることがあるそうです。

また、建物内において気づいたことは、図書館の入り口にある、時間外ポストの足元にある台のことで

子どもさん用に作られたと思いますが、車いすの方だと、ポストに近づくのに妨げとなっていることがわかりました。

チラシ台の上下段も取りづらいのに気づきました。

自動販売機も商品の取りだしに苦勞するのもありました。



②高齢者体験…高齢者体験は膝、腰、腕の曲げ伸ばしを抑制するベルト、耳が聞こえにくいようにヘッドフォン、目が見えにくいメガネを装着して実施しました。



自動販売機の1台はお金を入れるところも、ボタンを押す位置も高くて、痛くて腕が上がらない方は、使いづらいのではと思いました。

もう1台は使いやすい工夫がしてあり、釣銭の口も広く、ジュースも取り出しやすくなっておりました。



あさけプラザのホールにある椅子は、深々として深く腰をかけると、立ち上がるのに困難でした。

腰が曲がると首も下を向き、上の方を見るのが辛く、掲示板なども下の方にあると見やすいのではと感じました。

トイレの中は広くてよかったのですが、杖を使っている方は、杖を置く場所がなく、杖が倒れた時のことを考えると拾い上げるのが、困難ではと思いました。



③妊婦さん体験…約8kgの重りを付けて、あさけプラザの中を歩きました。

約8キロの重りをおなかに抱える感じの装具をつけて、あさけプラザの中を歩きました。

重いだけでも大変なのに、妊婦さんは、単純に重いだけではありません。

おなかが出っ張って足元がよく見えなくなり、床の上の物を拾うのもひと苦労です。



又、座る、起き上がる、寝転ぶことすらたいへんです。

おなかの中には大事な大事な赤ちゃんがいるのです。

自然とおなかをかばうような動作も多くなると思います。



普段は気にせずに廊下、階段、スロープ、駐車場、自動販売機、ソファなど使っておりました。

擬似体験で、この手すりはいい感じだ。スロープは少し急かな？この自動販売機は投入口、ボタン、取出し口が中間にあり、使いやすいかな？ソファの使い勝手などいろいろと考えるようになりました。



～体験を通じて気付いたこと。～

ユニバーサルデザイン（UD）とは、幼児から高齢者まで、障害の有る無しにかかわらず、使う人の立場に立ってデザインされたもののことを言います。

ユニバーサルデザインには7つの原則が提唱されているそうです。

- ①誰でも使用でき入手可能
- ②柔軟に使用できる
- ③使い方が容易にわかる
- ④使い手に必要な情報が容易にわかる
- ⑤まちがえても重大な結果にならない
- ⑥少ない労力で効率的に、楽に使える
- ⑦アプローチし、使用するのに適切な広さがある。

社会福祉協議会、福祉部員で擬似体験をし、感じたことは、さまざまな人々が共存していくための街づくり、今後高齢化がどんどん進み、ユニバーサルデザインはとても大切なことだと思いました。

年齢や、障害に関係なく、出来るだけ多くの方が、利用可能な施設、設備であってほしいと我々広報部員は願っております。

また、この施設、設備の使い勝手はどうか？、困っている方はいないか、手助けはいらぬか、という目で見ようにして、いきたいと思っています。

最後になりましたが、三重県UDアドバイザーを中心にボランティア活動をしている「UDほっとねっと四日市」の服部佳克氏・伊藤順子氏両名のご協力により、擬似体験をすることができました。ありがとうございました。

平成21年の思い出



地区市体育祭
五月二十四日(日)
大矢知興譲小学校



地区盆踊り大会
七月二十五日(土)
あさけプラザ



やすらぎ荘の集い
八月二十七日(木)
やすらぎ荘



敬老祝賀祭
九月一三日(日)
あさけプラザ



スポーツフェスタ
一〇月一日(日)
中央緑地公園

グループハイキング
一〇月四日(日)
北勢中央公園



地区文化祭
一一月一日(日)
市民センター



婦人委員会研修旅行
一一月二三日(月)
名古屋港防災センター



夢は全国優勝～稲垣三姉妹

レスリングは2年生の9月ごろから始めました。初めはレスリングってどうやってやるかなと思っていました。れんしゅうをやっているうちに、ルールが分かってきました。一番初めのしあいが四日市のウノメダルでした。その時負けてくやしくてもっと練習をがんばらなきゃ勝てないかなと思ってどんどん練習を始めました。

わたしの目標は全国大会でゆう勝することです。全国大会でゆう勝するにはいっぱい練習をしなきゃいけないので、もっと練習をしてくやしい思いをしないように、がんばっていきます。 妙香



おねえちゃんたちといっしょに、がんばってれんしゅうをして、つよくなりたいです。 のどか

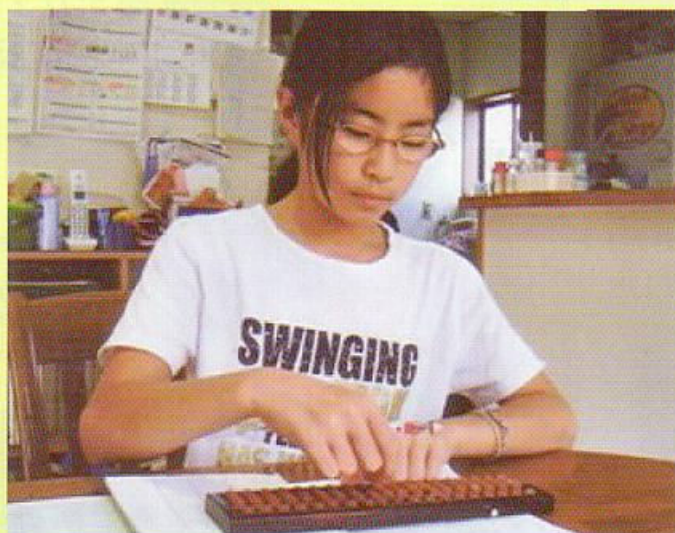
わたしがレスリングをはじめたのはおねえちゃんがかっていたからです。

さいしょは、れんしゅうがきつきたいへんだったけど、だんだんなれてきました。そしてしあいもできるようになり、かつこともできるようになりました。

もくひょうはらいねんの全国大会でゆうしょうすることです。

それまでいっしょうけんめい、れんしゅうをしたいです。 ゆずか

目標は三段



私は3年生の春にそろばんをはじめました。そろばんを始めたきっかけは、お姉ちゃんとお兄ちゃんがしていたからです。

初めはめんどくさそうでいやだったけど、やってみたら楽しく思えて、今までがんばってきました。

私のそろばんの思い出は競技会のことです。競技会は私の好きなかけ算もわり算も整数だから好きです。

私の目標は、お姉ちゃんの三段です。

私はそろばんを六年生でやめるかもしれないからやめるまでの時間を使って、三段をこえたいなと思っています。

広瀬 みきな

編集後記

第31号地区広報誌をお届けします。今回は、ユニバーサルデザインをテーマに取り上げてみました。今までにした事のない貴重な体験を広報部員で経験をする事ができ、改めて勉強する事ができました。

その体験をもとに皆様にお伝えしたい事を記事にし、たくさんの方々に見てもらえたら嬉しく思います。今回、ご協力頂きました皆様、ありがとうございます。今後ともより良い広報誌をお届けする為、皆様のご協力を宜しくお願い致します。

【大矢知地区社会福祉協議会 広報部】

(広報部長) 高野 志保 (部員) 古市 由佳里・筒井 直美・石田 理恵・鶴野 彰紀・服部 優子

(会長) 荒木 稔 (副会長) 水谷 健一 (総務部長) 大谷 勲 (総務部) 伊藤 俊一 (相談役) 岡野 満夫